

## RA 患者のステロイド使用、20年間で3分の1に

関節リウマチ (RA) 患者に対するステロイド使用量は最近 20 年間に大幅に減少し、1980 年代前半の平均 10.3mg/日から、2000 年代前半には平均 3.6mg/日と、ほぼ 3 分の 1 になっていることが示された。米ニューヨーク大学病院の Theodore Pincus 氏らが、米フィラデルフィアでこのほど開催された米国リウマチ学会年次集会で報告した。

研究グループは、大学病院の患者データベースから 1980～2004 年に診療した RA 患者 308 例を対象とし、治療開始時と開始 1 年後のステロイド (プレドニゾン) 投与量、臨床検査値、身体機能、痛みなどについて、5 年ごとの推移を断面的に調べた。

その結果、治療開始時のプレドニゾン投与量は、1980-1984 年には患者の 51%が 5mg/日、49%が 5mg/日超と、全症例が 5mg/日以上だったが、後年ほど低用量化が進み、2000-2004 年には、86%が 5mg/日未満、10%が 5mg/日で、5mg/日超だったのはわずか 3%だった。

治療開始時投与量の中央値をみても、1980-1984 年には 10.3mg/日 (n=37) だったが、1985-1989 年には 6.5mg/日 (n=74)、1990-1994 年には 5.1mg/日 (n=77)、1995-1999 年には 4.1mg/日 (n=61) と低下し続け、2000-2004 年には 3.6mg/日 (n=59) と 20 年間に 3 分の 1 になっていた。

一方、プレドニゾン投与量が 5mg/日未満の群と 5mg/日以上で、治療開始時点と開始 1 年後の身体機能、痛みと患者の自己申告による総合評価 (RAPID 3 値) の変化を比較すると、用量が大幅に減少しているにもかかわらず、効果については有意な違いは見られなかった。

これらの結果について Pincus 氏らは、特に 1990 年代以降、大半の RA 患者に対し、治療初期からのメトトレキサート投与が行われるようになったためではないかと推察していた。